

令和5年度 学校経営計画書

瀬戸内市立牛窓西小学校
校長

1 はじめに

新学習指導要領で求められている学習指導を効果的に展開することができるよう、授業改善を行い、児童の資質や能力を高めていきたい。

また、学校教育が効果的に進められるためには、職員のベクトルをそろえ、意図的・計画的で機動的な組織運営が図られなければならない。鹿の子2部会の活性化が望まれる。

さらに、管理職や指導教諭による人材育成を図りつつ、校内研修の充実を図るなど、職員相互による研鑽の場を効果的に設け、職員の資質や能力の向上を図っていきたい。

一方、本校は、少人数化に伴い、今年度は3・4年複式、5・6年複式学級となった。今後、数年で全ての学年が複式学級になると予想されるので、そのための複式学級運営の在り方等についても、研究をさらに進めていく必要があると考えている。

本年度は、以上のことを主眼に置いて、学校経営を進めていきたい。

2 本校の実態 ○…強み ●…弱み

(1) 地域

- 地域の方は、穏やかで学校に協力的であり、環境整備、学習支援、登校時の見守り等、積極的に支援をいただいている。
- 海、山の豊かな自然に囲まれ、のどかな環境である。
- 白菜、キャベツ等の畑作が盛んであり、古くからの仏閣や伝統的な行事も継承されており、地域学習の対象が、豊富に存在する。
- 平野部が狭く、道路も狭い。特に、学校前の幹線道路では、登校時の交通量が多く、横断時が危険である。保護者による毎日の旗当番による見守りのほか、警察官も幹線道路横断時の見守りをしてくれている。
- 少子化が進んでおり、今年度の入学児童は8人であるが、来年度以降は5人前後の入学となる予定である。

(2) 児童

- 心優しく、人に親切である。そのため学級や学校全体が受容的風土で満たされている。
- 学習やささまざまな作業等、まじめに一生懸命にがんばる。
- 学校行事では、学年や男女を超えて、団結して取り組める。
- 学校のきまりをよく守り、学習規律もしっかりと身に付いている。
- 朝はリズムジャンプ、業間休みはほぼ全員外で活発に遊び、体をしっかり動かしている。
- 家庭学習強化週間の取組は定着し、効果を上げている。今後も取組の継続が必要。
- 各種学力テストでは、全国や県の平均とほぼ同等であるが、学年による学力差、同一学年であっても個による学力差が、やや大きい。
- 自己受容感が低く、自分に自信がもてない傾向がある。そのためか、精神的な弱さが見られる児童がいる。
- 家庭での学習習慣や生活習慣の定着度は、個人差が、やや大きい。

(3) 保護者

- 穏やかで学校には協力的である。
- 学校の教育方針や教育活動には、理解を示してくれる。

(4) 教職員

- 誠実に一生懸命に働く。
- 同僚性を大切にし、歩調を合わせて目標に迫ろうとしている。
- 指導技術や児童理解を深めたいなど、教師としての目標をもって仕事に向き合おうとしている。

3 学校教育目標

か が や き の び る こ ころ ゆ た か な 牛 窓 西 の 子

- ◆「かがやき のびる」とは…
児童が個性を發揮しながら、仲間とともに諸活動に真剣に取り組み、自分の資質や能力を高めること。
- ◆「こころゆたかな」とは…
豊かな感性をもつとともに、**自ら考え自ら行動し**、自分を望ましい方向へ向かわせようとする意志。

この学校教育目標は、知・徳・体の調和の取れた発達を促すことを、鹿忍地区の子どもを意味する「か・の・こ」を使用して象徴的に表現したものである。このような児童を育成するには、家庭や地域との連携・協働を図りつつ、学校教育を充実させる中で、児童の自己受容感を育むことが重要であると考えている。

4 目指す子ども像

【知】 夢に向かい、一生懸命に学習に取り組む子ども

人間は、夢や目標をもつことで、前へ進んでいくことができる。常に向上しようとする高い志をもち、各教科等の学習に取り組むことで、自己の資質や能力を開花させ、将来を力強く生きていくことができる。

【徳】 互いの人格を尊重し、自他ともに大切にすべくたくましい子ども

人間は、互いの関わり合いを通して、豊かな人生を歩むことができる。そのためには、ありのままの自分や友達を肯定的に受け止め、互いの人格を尊重するとともに、自他ともに大切にしようとする心情や態度が必要である。このような受容的な雰囲気のある学級や学校の中で、児童は自分を開示し、友達とともにたくましく成長していくことができる。

【体】 心身の健康安全に心がけ、健康・体力づくりに励む子ども

児童が、自己の資質や能力を高めていく大前提となるものは、健康・体力である。健康教育を推進し、心身の順調な発育や体力づくりを促すことにより、児童が健全に成長するための基盤をつくることができる。

5 目指す学校像

- (1) 今後の社会をたくましく豊かに生き抜く力を育む学校
- (2) 教育理念を地域と共有し、地域とともに歩む学校

6 目指す教師像

- (1) プロ意識をもち、指導力を発揮する教職員
- (2) 目標を共有し、チーム力を発揮する教職員
- (3) 自己研鑽に励む教職員

7 学校経営基本方針

- (1) 学校経営計画書に基づいて、自己目標シートの目標や取組等を設定し、全職員がベクトルをそろえて学校教育目標に迫る。
- (2) 新学習指導要領の趣旨をふまえて、主体的・対話的で深い学びの実現に迫る授業づくりを進める。
- (3) 鹿の子2部会（学力向上部会、心と体づくり部会）を学校教育を組織的・継続的に推進するための要の機関としてとらえ、各部会でそれぞれの目標を達成するための取組を検討し、学校全体で共有して指導に当たる。また、定期的に評価し、PDCAを図る。
- (4) 管理職や指導教諭による指導・助言やOJTを大切にするとともに、校内研究・研修や自己研鑽を通して、職員の資質や能力の向上を図る。
- (5) 自己肯定感を児童の成長を促す原動力としてとらえ、キャリアパスポート等を活用して活動ごとに振り返りの場を設定する。達成感を味わわせると共に、うまくいかないときも、気持ちを切り替えたり他者と支え合ったりすることで、自ら成長する心たくましい児童の育成を図る。
- (6) 地域と教育理念を共有し、連携・協働を推進することで、学校教育の充実を図る。
- (7) 家庭との連携を推進することで、児童の抱える教育課題の早期解決とともに、円滑な教育指導の展開を図る。
- (8) 働き方改革を進め、職員に時間的ゆとりを生み出し、教育の質の向上を図る。

8 2部会の取組

各部会で、重点（数値）目標を2～3設定し、定期的に評価し、以後の取組に生かす。

◆学力向上部会…確かな学力の育成 <知>

【目標】

学習規律や基礎学力の徹底、主体的・対話的で深い学び、ICT活用等への対応、家庭での学習習慣、自主学習の在り方などについて提案し、学力の向上を目指す。

【重点目標】

- 1 家庭での学習習慣を定着させるために学期1回以上家庭学習強化週間を設ける。その週間を契機として、家庭学習の約束や**自主学習**の目標時間の達成率90%を目指すとともに、学習内容の質を高める。
- 2 **主体的な学習**を目指して授業改善を行う。

| 主 な 取 組 | | |
|---------|-----------------------------|---|
| ① | 学習規律 | <p>○年度、学期はじめに「西小 学習の7つのきまり」をもとに、学習規律の徹底を図る。</p> <p>① 休み時間に次の準備 ② 1分前着席 ③ 学習に関係ないものは机の上に出さない ④ 正しい姿勢で学習 ⑤ 発表は「はい」と返事をして立つ ⑥ 発表は最後までだまって聞く ⑦ ノートは下じきをして、ていねいにゆっくり書く</p> |
| ② | 基礎学力 ・読み ・書き ・計算 | <p>○朝学習を有効に活用し、児童の実態に応じた反復練習及び活用による基礎基本の定着の確認と習得の促進を図る。</p> <p>○朝学で月1回、全校一斉漢字テストと計算テストを交互に実施する。</p> <p>○特別な支援を要する児童の実態把握に努め、個に応じた有効な指導法を共有する。</p> |
| ③ | 主体的な学習 (授業力の向上) | <p>○岡山型スタンダード（増補版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入、授業中、振り返りを工夫し、学習課題を明確にして、意欲的に問題解決ができるようにする。 ・板書や発問（問い返し等）等を工夫したり、ペア、グループの学習を効果的に取り入れたりしながら、児童自らが考えの違いや共通点に着目した話し合いを通して、考えを広げ、深める。 ・振り返りを通して達成感を味わわせ、次の学習への課題意識をもつようにし、指導や学習に生かす評価の工夫をする。 |
| ④ | 学習環境の変化への対応 (ICT) | <p>○ICT機器の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容理解の支援及び話し合い活動の活性化を図る。 ・持ち帰り学習の有効な活用方法を探る。 ・「情報活用能力一覧表」を活用し、系統的な学習ができるようにする。 |
| ⑤ | 家庭との連携強化 | <p>○授業での学習内容と家庭での自主学習とを連動させ効果的に自主学習ができるようにする。</p> <p>○時間を有効に活用し、計画的に学ぶ力を伸ばす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キラリノートの作成 ・家庭学習強化週間中における頑張りカード ・自学ビンゴ等 <p>○学級通信を活用して、学校での学習や生活の様子、担任の思いや考えを保護者に積極的に伝える。</p> |

◆心と体づくり部会…豊かな心・健やかな体の育成 <徳・体>

【目標】

心の教育、体力づくり、健康づくり、家庭での生活習慣などの在り方について提案し、心身の健全な発達を目指す。

【重点目標】

- | | |
|---|---|
| 1 | 豊かでたくましい心の育成 ○多様性を認め合い、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者とつながる力」などを高める場の工夫 ・特別活動の充実・異学年交流・地域との交流・読書に関する取組 ・人権週間の取組 |
| 2 | 健やかな体づくり ・リズムジャンプ・チャレンジランキング・外遊び |

| | |
|----------------|--|
| 1 豊かでたくましい心の育成 | <ul style="list-style-type: none"> ○特別活動の取組や振り返り（キャリアパスポート）を通して自己肯定感を育むとともに、「自分と向き合う力」「自分を高める力」「他者につながる力」を高める。 ・自分と向き合う力…落ち込むようなことがあっても、自分で気持ちを切り替えることができる ・自分を高める力…苦手なことや新しいことにチャレンジする ・他者につながる力…間違ったり失敗したりしたときに支え合ったり助け合ったりできる。集団の中で自分が何をすべきかを考えて、意見を出したり、自分の役割を果たしたりできる。 ○道徳教育の充実を図り、話し合いを通じて物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えが深められるようにする。 ○読書活動を推進し、読書に親しむとともに、豊かな情操を養う。 ○鹿の子班で互いのよさを認め合う活動に取り組み、学年を超えて受容的風土のある集団づくりを目指す。 ○あはは運動を通して生活改善をめざし、集団で取り組む良さと達成感を味わわせる。 ○地域学習、クラブ活動、学校行事等での、様々な人との関わりや体験活動を通して、豊かな心を育てる。 |
| 2 健やかな体づくり | <ul style="list-style-type: none"> ○リズムジャンプやチャレンジランキング等を始業前や体育の時間に取り入れ、健康な体をつくる。 ○外遊びの奨励や集会活動など年間を通して体力の向上を図る。 ○家庭学習強化週間に合わせてチャレンジカードに取り組み、家庭と連携して健康的な生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の改善を目指す。 ○学級懇談の時間に、メディアについての情報を伝え、家庭でのメディア利用に関する啓発を行う。 |